

2015年10月吉日

日本情報地質学会 2015年度シンポジウム  
— 地形・地質三次元モデリングの最前線 —

国民生活の防災・減災，環境保全，国土インフラの構築と維持・管理や資源開発などに役立てるため，国土の基本情報とも言うべき地形情報と地質情報を有効的に利活用する必要があります。それには，地表を構成する地形，地下空間を構成する地質や物性を三次元的にモデリングすると共に，視覚的に訴える可視化技術の確立が必須です。

このような背景を踏まえ，日本情報地質学会は，平成23年度に「空間モデリングによる地質情報の利活用」を，平成24年度に「地形・地質・地球物理情報の三次元モデリング」を，更に平成25年度には国土交通省が策定中のCIM(Construction Information Modeling/Management)を前提においた「地質情報等の三次元モデリングとCIMについて」をメインテーマとしたシンポジウムを開催してきました。

今年度は，国土地理院の5mDEMや地表設置型のレーザープロファイラーによる精密なDEMを利用する地形情報と，CIMの実施に向けて急速に進歩しつつある地質(地盤)情報の三次元処理システム(ジオモデラー)とその可視化技術などに関する講演シンポジウムを下記のように開催したいと考えています。

是非，議論の場に参加頂けますようご案内致します。

主催：日本情報地質学会

共催：国立研究法人 産業技術総合研究所(予定)

一般社団法人 資源・素材学会 探査工学部門委員会(予定)

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

後援：公益社団法人 日本地質学会 情報地質部会(予定)

特定非営利活動法人 地質情報整備活用機構

日時：平成27年12月9日(水) 13:00-17:00

会場：飯田橋レインボービル 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地

<http://www.science-forum.co.jp/img/maps/iidabasi.htm>

JR 東日本・中央線飯田橋駅西口下車，徒歩約5分

予稿集：発表者が作成した配布用文書を事務局がPDFに変換し，学会ホームページに掲載します。出席される方は各自印刷して持参ください。タブレット閲覧可です。

プログラム：別紙をご参照ください

意見交換会：17:30-19:00。レストラン ブ・ラン・ディ (飯田橋レインボービル1階)

参加費：・シンポジウム 1,000円

・意見交換会 3,000円

連絡先：日本情報地質学会 office@jsgi.org

★参加ご希望の方は，件名に「情報地質シンポジウム2015参加申込」と明記して，お名前・所属・電話番号・e-mailアドレスを上記アドレスにお送り下さい。

なお，会場設営関係上，意見交換会への「参加希望/希望せず」を明記下さい。

日本情報地質学会 2015 年度シンポジウム  
－地形・地質三次元モデリングの最前線－

プログラム

平成 27 年 12 月 9 日(水) 13:00-17:00

13:00 ～ 13:10 主催者挨拶

13:10 ～ 13:55 標高タイルと Web 技術を用いた三次元可視化

(国研法人) 産業技術総合研究所

西岡 芳晴氏

13:55 ～ 14:40 日本海側山地に特有な筋状地形(雪崩地形)の地形形態と分布について

国土交通省 国土地理院

関口 辰夫氏

14:40 ～ 14:55 休憩

14:55 ～ 15:35 砂防関連 DM データを用いた三次元モデリングと利用例

五大開発株式会社

関家 史郎氏

15:35 ～ 16:15 「示準柱状図と大量のボーリング柱状図を利用した三次元地質モデリング」－地質モデリングの自動化の可能性について－

株式会社ジーエスアイ

豊田 守氏

16:15 ～ 16:55 三次元地質解析システム「GEO-CRE」の紹介

応用地質株式会社

西山 昭一氏

16:55 ～ 17:00 主催者挨拶

17:30 ～ 19:00 意見交換会, 希望者

会場: レストラン ブ・ラン・ディ (飯田橋レインボービル 1 階)